

- 連絡機関：Seoul 国立大学校および Population Council, Inc., New York
- Mr. B. Sharma: Health and Labour Minister, State of Rajasthan, India
 年月日：1970年11月10日
 用務：家族計画運動視察
 連絡機関：I. P. P. F., Western Pacific Regional Office
- Dr. Riaz ul Hassan: Acting Head, Department of Sociology, University of Singapore
 年月日：1970年11月13日
 用務：日本地域開発センター海外研修生として日本の都市化，人口移動研究のため
 連絡機関：日本地域開発センター
- 韓基春氏 (Dr. Kee Chun Han): 韓国，延世大学校商経大学教授
 年月日：1970年12月15日
 用務：家族計画に関する調査研究および文献収集
- Dr. Victor LeClaire: US. Navy Captain Rtd.
 年月日：1970年12月18日
 用務：日本の人口問題に関する資料収集

日本家政学会第22回総会

日本家政学会第22回総会は，昭和45年10月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり，兵庫県の武庫川女子大学において開催され，本研究所からは，内野澄子技官が出席した。

一般研究報告は，食物学，被服学，児童学，住居学，家庭経営学，その他，家庭科教育の7部会に分かれ計316題の報告が行なわれた。このうち人口に関連を持った報告をあげると次のとおりである。

- 家計が負担する教育費の変動(その1) — 社会保障研究所「児童養育費調査」による —
伊藤秋子他2名(お茶の水女子大)
- ファミリー・サイクルに対応する教育費.....伊藤秋子(お茶の水女子大)
 杉原由機(立正女子大)
- 農家生活の変貌に関する研究—集落の世帯構成についての地域別考察—
鹿股寿美江他1名(青葉学園短大)
- 世帯数変動の構造と地域的特徴—昭和30年と40年の県別比較—
内野澄子(人口問題研究所)
 (内野澄子記)

第43回日本社会学会大会

第43回日本社会学会大会は，昭和45年10月8(木)，9(金)の両日，東京女子大学において開催され，本研究所からは，上田正夫，黒田俊夫，駒井洋，清水浩昭，柴田弘捷および若林敬子の6技官が出席した。

第1日目の一般研究報告は，理論，社会心理，家族，地域社会研究，教育・人口(午前の部)，社会学史・理論，農山村，都市，社会病理，産業・労働・職業(午後の部)の各部会が開かれ，計45題の報告があった。本研究所関係者では黒田技官が「人口移動の“近代化”」を，また駒井技官が「タイの企業者能力」について注目すべき報告を行なった。

第2日目のシンポジウムは「現代日本の都市化と都市問題」と「現代の青年問題」の二つの部会からなり，

午前・午後を通して開かれた。特に前者は、今日直面する都市問題に対して、従来の都市社会学の問題視角への反省と総括の意図をもって、周到に企画されたにもかかわらず、その根底にもつ社会学の方法論の欠如が再度確認された感をもっておわった。むしろ緻密な実証的共同研究の報告のなかにえるものが少なくなかった。

その他人口に直接関係する発表としては、「死亡秩序の近代化とその社会的文化的要因、とくに主要国における平均寿命と死亡率性比の変動について」(佐賀大学・山本文夫)、「アチーブメント・モチベーションの社会学的研究」(東京教育大学・安田三郎他)などがあげられる。
(若林敬子記)

1970年度 日本地理学会・人文地理学会合同大会

昭和45年10月10・11日両日(12・13日は4班に分かれてエクスカージョン)にわたり、1970年度日本地理学会・人文地理学会合同大会が、奈良女子大学において開催された。本研究所からは、伊藤達也、高橋真一の両技官が出席した。

研究発表は、一般研究発表、シンポジウムおよび日本地理学会各研究委員会の3部門に分かれて行なわれた。一般研究発表は、自然・人文にわたって47題の報告があったが、そのうち人口に直接関係のある研究発表は伊藤達也技官の「広島県の人口移動に関する研究」であった。

シンポジウムにおいては、「歴史時代における中心集落」、「土地分類」、「行政区域の再編成と地理学的地域」の3題について、発表と討論が行なわれた。とくに、「行政区域の再編成と地理学的地域」では、道州制の問題が論点となり、その是非、地理学的立場からのそれへのアプローチ等の議論が出て、今後の地理学のあり方を再考させるうえで有意義であった。

また、研究委員会は「都市地理研究委員会」、「農業地理学研究委員会」、「計量地理学研究委員会」、「水文学研究委員会」、「地理学と教育に関する研究委員会」の5委員会で発表と討論が行なわれ、人口関係では「都市地理研究委員会」において、二神弘氏(富山大学)の「地方都市における人口の環流現象」と題する発表があった。
(高橋真一記)

日本栄養改善学会第17回総会

日本栄養改善学会第17回総会は、昭和45年10月21日・22日の2日間山形市において行なわれた(第1日目は総会、第2日目は分科会および職域集会)。一般報告は191題に上り、本研究所から内野澄子技官が出席し、「主食選択行動の地域性と移動経験」について報告を行なった。
(内野澄子記)

第24回日本人類学会日本民族学会連合大会

昭和45年11月6、7の両日、福岡県久留米市民会館において、第24回日本人類学会日本民族学会連合大会(大会委員長 竹重順夫)が開催された。